



見本田での稲作体験

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

北広島市水稲赤毛種保存会

【北広島市】

寒地稲作発祥の歴史と道産米のルーツ「赤毛米」を継承する

はじめは？

北広島市は「寒地稲作の父」と呼ばれる中山久蔵が明治時代に道南以北では栽培が困難であった寒地稲作を成功させた「寒地稲作発祥の地」であり、道産米のルーツとされる赤毛種が継承されてきました。

昭和59年に北広島市が開基100年を迎えた節目に歴史的に重要な赤毛種を絶やしたくないという声から見本田を復活させ、保存・栽培に取り組むことを目的に、平成4年に北広島市水稲赤毛種保存会が発足しました。

おもな活動

赤毛種の保存と栽培に取り組んでいます。明治時代に中山久蔵が居住していた旧島松駅通所の横に復活させた見本田では、赤毛種を使用した体験学習を行っており、市内の小学生が田植えや、稲刈り体験をしています。刈り取り後は、学校に稲を持ち帰り、足踏み脱穀機などの昔ながらの作業を体験して、最後は自分たちでおにぎりを作って食べることを通じて寒地稲作発祥の歴史を学んでいます。



見本田全景



はさ掛け

ここが自慢

【食育と地域振興に貢献したい】

市内の小学生は、赤毛米の栽培体験を通じて北広島の歴史を学習し、郷土愛が芽生えるきっかけとなっています。北広島商工会では、赤毛米を原料にした日本酒、酒粕や米粉を使用した商品を次々に企画しており、赤毛米をモチーフにしたご当地キャラクター「きたひろ まいピー」によるPR活動も展開されています。見本田がある旧島松駅通所は現北海道大学の初代教頭であったクラーク博士が帰国の際に金言を残した地でもあります。



寒地稲作発祥の碑



旧島松駅通所ライトアップ

連絡先

代表者名：三戸 修さん／設立：1992年／会員：2名

住所：北広島市中央4丁目2番地1
(北広島市経済部農政課)

電話番号：011-372-3311

F A X：011-372-0888

E-mail：nousei@city.kitahiroshima.lg.jp

URL：<https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/detail/00128533.html>